

前回（H27第2回）会議議事録

平成28年1月28日

件名	平成27年度第2回地域福祉計画推進委員会	作成課	福祉部 地域福祉課
日時	平成28年1月28日 15時～16時30分		
場所	市教育総合センター3F 研修室		
出席者	推進委員21名・地域福祉支援員4名・事務局4名		
市出席者	委員：福祉部長・すこやか長寿部長・子育て支援部長・保健所長 事務局：地域福祉課4名		
会次第	1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議事 (1) アンケート（校区社協・民児協）調査及び各地区福祉推進会議の報告 (2) 第4期地域福祉計画骨子案について		
主な意見等	<p>「アンケート（校区社協・民児協）調査及び各地区福祉推進会議の報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員からの意見等、特になし。 <p>「第4期地域福祉計画骨子案について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨子案に「福祉に関する情報の提供と確保」とあるが、市民が見た時にもっと安心できるような表現に出来ないか。 ⇒今回の案が最終ではないので、今後もっと分かり易い表現となるように検討していきたい。 高齢者の視点から見ると、「移動の困難やバリアフリーの問題」が気になるが、関係部局（建設局や交通局）とは連携が取れているのか。 ⇒毎年、地域福祉計画の進捗状況について関係部局に照会を行っており、今後も委員の皆様には回答結果や進捗状況等を報告していきたい。 「生活困窮者の自立に対する支援」とあるが、今までの生活保護とどこが違うのか。 ⇒生活保護に至る一步前の状況の方と捉えて頂きたい。国の指針もあることから次期計画に盛り込む事となるが、生活困窮者は複合的な課題を抱えている事も多く、地域の中で共助の支えあいを進めていく事が地域福祉活動の推進に繋がるものとする。 「障害を理由とする差別の解消の推進」についての記述ですが、「障害」と「障がい」が混在している。どちらかでの統一を図った方が良いのではないか。 ⇒関係課にも確認を取り、今後は統一を図りたい。 街中で困っている方（高齢者や子育て中の方）を積極的に助けるなど、「具体的に態度や行動で示しましょう」というような施策は立てられないのか。 ⇒具体的に施策として立てることは難しいが、計画の中の文章で、その様な事も表現していきたい。 		

- ・計画の中身を拝見すると、商店街連盟として協力できる項目が多く見受けられる。今後連携の枠を拡げて頂ければ、見守り活動等で協力していけないのではないだろうかと思う。
- ・人から「必要とされる」「褒められる」「役に立つ」をキーワードにすれば、もっと幅の広い計画が出来るのではないか。
⇒ご意見を参考にして、高齢者等がもっと外に出て活躍できるような計画づくりに努めたい。
- ・アンケート調査の結果をみると、「個人情報の収集に困っている」とあるが、具体的な解決方法などを探ることは出来ないか。委員としても考えていかなければならない。
⇒次期計画では特に力を入れていきたい項目でもあるので、今後ともご協力をいただきたい。
- ・IOT (internet of things)、物のインターネットを使って製品にセンサーをつければ安否情報などの確認ができるようになる。今後、鹿児島市も先進的に取り組みを行っていただきたい。
⇒鹿児島市においては既に、押しボタンセンサーで警備会社と繋がっているシステムを取り入れている。安心安全な暮らしを確保するために、今後、さらに広報をし、利用者の増加を図りたい。
- ・少子化で人口も減少していくので、スマートシティを意識したまちづくりをしていかなければならない。
- ・計画の中に「保健所ボランティア」とあるが、保健所でのボランティアと感るので、「健康ボランティア」や「健康づくりボランティア」等に変更したほうが良いのではないか。
- ・「自助・共助・公助」の「公助」において、新聞等に市に対する要望等の意見があった場合は、しっかり取り上げていてもらいたい。
⇒すべての新聞の意見を取り上げることは難しいが、出来る限り対応していきたい。
- ・町内会の中に空き家が増えてきており、町内を把握するのに苦心しているが、計画の中にある「支えあいマップ」とは地域のどのような事が掲載されているマップなのか。
⇒地域内における人と人との繋がりを図にしたものであり、その中から地域での問題や気になる方を把握し、それを基に見守り活動等に繋げていくためのマップであります。概ね50世帯を対象としており、地域の社会資源等が記載してある「福祉マップ」とは用途が違います。
- ・計画の中に「高齢者や障害者等に対する移動手段の確保」とあるが、巡回バスや移送サービス等はどの様にして市民に広報しているのか。高齢者や障害者等にもっと分かり易いようにお知らせをしていくべきである。
⇒関係課へ確認し、計画策定の参考にしたい。